



～ 地域で生きる人になる～

いづよう魅力化協議会だより

No3 令和6年3月6日 島根県立出雲養護学校

2月8日（木）に、令和5年度第3回魅力化協議会を開催しました。

今回は、12名の委員様に参加いただき、学習発表や協議（「令和5年度グランドデザインを踏まえた取組を振り返って」）を実施しました。

学 習 発 表

☆肢体不自由グループ

「魚取りゲーム」という自立活動（身体の動き）の学習の成果を発表しました。ポールにまたがって姿勢を保持しながら移動し、ペットボトルをつかんで身体をひねってかごに入れる活動です。最後は立位でかっこよく決めました。これは、股関節、膝関節、足関節周辺の柔軟性や姿勢保持するための調整力を高めるための取り組みです。



☆大田分教室

大田の特産品である大あなごを題材にした学習のまとめとしてのPR動画での発表でした。生徒が考えた大あなごのキャラクターのペープサートをしたり、大あなごについて分かったことをクイズ形式にしたりするなどたくさんの人に楽しんで見てもらえるよう工夫しました。会場は楽しい雰囲気になっていました。

☆中学部

いづよう魅力化協議会委員でもある山根様のご指導の下、神戸川太鼓の取組も2年目を迎えました。この日は、中学部太鼓オリジナル曲「虎舞～第2楽章～」の完成披露のステージとなりました。生徒たちはこれまでの練習の成果を発揮し、全身を使って太鼓をたたき、迫力のある音を響かせていました。



協議「グランドデザインを踏まえた取組を振り返って」

<令和5年度重点目標(年度末評価)報告>

今年度の各学部、分掌等の重点目標の評価について報告をしました。

これに対して委員の皆様からたくさんコメントをいただきました。そのいくつかを紹介します。

- ・今年度は、勇気あるB評価はAに値すると思っております。
- ・評価については、ほとんどがA評価で頑張っていると思います。目標値に対する実績もほとんどの項目で大きくクリアしておられるので、さらなる高みを目指すためにも目標値を数ポイントでもアップしてみるのも良いのではないかと思います。
- ・目標値を上回る実績となっており、子どもたちへの熱心さや学びの充実さが伝わります。全体的に探究心を大切に学習ができていと感じられ、子供たちの主体性も育てられていると思います。今年度は地域とのつながり、実践活動が、さらに広がったように感じます。地域での学校や子供たちの理解が得られ、地域から出雲養護学校に求められるようになると嬉しいですね。

<委員様より>

最後に委員様から、今年度のいずよう魅力化協議会や学校の学習活動について感想やご意見をいただきました。その一部を紹介します。

- ・魅力化協議会で行われたことは子どもたちにかえってきている。子どもたちに居場所ができています。委員の方の子どもたちに対する思いが伝わってきて嬉しかった。
- ・たくさんの発表を聞いたが、出かけていくことは大事だと感じた。今年度は出雲大社でコーヒーを販売してもらい、観光客や地元の方へアピールできた。いずも多文化ひろばにはたくさん来ていただき喜んでいる。ぜひ次年度も継続してやっていきたい。
- ・子どもたちが変わったのは、子どもたちを外に出したから。緊張感をもってやること、周りから評価をしてもらって達成感を得ることが子どもの成長、自信につながっている。そのような場面にどんどん向かわせてほしい。

本年度最後のいずよう魅力化協議会を終えました。13名の委員の皆様には、地域と連携した教育活動へのご助言やアイデアをいただいたり、学校と地域を繋げていただいたりし、とても感謝しています。

本年度の出雲養護学校の地域と連携した学習は、193回(2月現在)も実施しました。また、いずよう魅力化協議会の開催された2月8日には、高等部「営業日」の来場者が1000人を突破するという記念すべき日となりました。このことに対して、委員の皆様から拍手をいただいたことで喜びもさらに大きくなりました。学校では、委員の皆様のご意見等も踏まえ、次の目標にチャレンジしていきたいと思っております。1年間、ありがとうございました。